

| | | |
|-------------|---|--|
| カキツバタ | <i>Iris laevigata</i> Fisch. | 絶滅危惧Ⅱ類 |
| (環境省:準絶滅危惧) | | アヤメ科 |
| 選定理由 | 自生集団が極めて少ない。 | 写真(高橋弘) |
| 形態の特徴 | 花は濃い紫色から青紫色で、外花被片の扁平部上面の基部に白色から淡黄色の細長い斑紋がある。葉の幅は1.5-3cmあり、葉脈は目立たない。 |  |
| 生態的特徴 | 湿地や水際に生育する。花期は5-6月。 | |
| 分布状況 | 朝鮮半島、中国北部、東シベリアに分布し、日本では北海道から九州まで分布している。岐阜県では県北の中部と県南の中部と西部部の標高900m以下に僅かに見られる。しかし、本当の野生かどうかの判断は難しい。 |  |
| 減少要因 | 湿地の開発と園芸目的の採取。 | |
| 保全対策 | 生育する湿地保全と採取の禁止。 | |
| 特記事項 | 本来の自生か人為的な移植かどうか不明な場合もある。 | |
| 参考文献 | | |

文責:高橋弘